



# 『しまの宝』

## 中総体駅伝大会の参加について

昨年まで、少ない人数でも参加していた中学生の駅伝大会ですが、本年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、9月の部活動が制限されたこと、夏休みの帰省中ほとんど運動ができていなかったことから、参加を見合わせるようになりました。もともと、ケガをして走れない生徒も数名いたことで、玉之浦中学校と合同チームを組んでも男女ともギリギリの人数でした。男子が3k~4k、女子が2k~3kを走りきるにはあまりにも、体力がありませんでした。

本校は「敢為の精神」を学校教育目標に掲げ、児童生徒に難しいことにも挑戦することを進めてきただけに、この選択は苦渋の判断としか言えません。しかし、準備不足とわかって挑戦させることは、「敢為の精神」に反すると考え不参加という形をとることになりました。玉之浦中学校も、練習不足がネックとなり、同じように不参加となっています。

しかし、少ないとはいえ、長距離の練習が開始されていきましたので、1・2年生は卓球競技の新人大会、今後の体力作りとして継続して練習することとし、校内の記録会などで自己ベストが出せるようにしたいと思います。地域の皆様にも、応援していただいていただけに大変残念です。

※朝から小学生と一緒に練習をしてきましたが残念です。↓



## 小体連練習に向けて

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための行事の中止延期は中学生だけでなく、小学生の大会にも影響がありました。五島市内の感染者が多く出たことから、9月末は「五島市の緊急事態です！」と集会まで開きました。小体連は、感染者が発表された学校もあったことから、やはり練習不足などを理由に、参加を見合わせる学校がでました。そこで、小体連は昨年同様、大会自体は中止となり、各校の記録を集め、記録の認定をするという形を取るようになりました。



中学生の駅伝大会不参加、小体連の中止と、続けて残念なお知らせとなりました。それでも、子ども達は朝の練習を必死に頑張っています。大会は中止になりましたが、他校の記録会への参加や、五島市の陸上競技場での記録会体験を計画し、子ども達の頑張りが、達成感や充実感として心に残るように計画をします。



## 中学生、体力づくり

駅伝大会の参加はできませんでしたが、体力作りに中学生も走っています。苦手だという長距離にチャレンジです。1年生の福太郎さんは、昨年、岐宿町で行われた八朔ロードレースに出場して以来の長距離へのチャレンジです。昨年は、完走できたことに達成感を味わい、「やればできる！」を実感しました。今年は体力をつけることと、少しでも記録を縮めて、自己新記録を作ることが目標です。3年生は走ることはありませんが、温かい目で応援しています。

## 記録会激励会（小学生）

小体連の代わりにする記録会を近隣の小学校と合同で行う計画をしていますが日程は、はっきり決定していません。しかし、久賀小中学校の児童として胸をはって競技に参加してほしいと、激励会を行いました。小学生代表で、三上覚さんは「一生懸命やるのが大事。勝ち負けではない。悔いがないように頑張してほしい。」とあいさつしてくれました。

また、中学1年生の越山福太郎さんは「自分のことを思い出すと、練習をして体力がつくと自分が変わっているんだという実感があつた。みんながいろいろな思いをもってゴールを目指す。みんなも爽やかな達成感を味わってほしい！」と応援してくれました。また、3年生の中野紗菜さんは、「自分の経験から、頑張るってゴールを目指すことに意味があると思っている。ぎばって来てください！」と心強いエールをくれました。

中学生から応援をしてもらって、5年生は誇らしく思ったことでしょう。

## ニコラス先生のお出迎え

10月5日（火）、9月からリモートで英語の授業に参加していた、ALTのニコラス先生が、やっと子ども達と初対面です。朝から、全校児童生徒でお出迎えをしました。児童生徒を代表して、生徒会長の大櫛優樹さんが英語で歓迎のあいさつを行いました。小学生は、ちょっとキョトンとしていましたが、ニコラス先生にも英語でごあいさつをいただき、「Good Morning!」（おはようございます!）と大きな声で返事ができました。ニコラス先生も、久しぶりの久賀の来島に、「こんなに、とっても良い天気で気持ちが良い日に、久賀に来られるなんて嬉しい!」と感想を言っていました。ニコラス先生との英語の授業が始まります。とても楽しみです。



↑ニコラス先生の大きな荷物に小学生が興味津々でした!

## 亀の観察にて・・・

久賀小中学校の1階のトイレに行く廊下に水槽で飼われた亀がいます。名前はありません。エサがほしいときには水槽の壁に自分の体をゴツン、ゴツンとぶつけて、私たちを呼びます。「エサをくれよ! エサだよ! 気付いて!」という具合です。近づくと、首を長く出して、ジッと見えます。エサが入った袋を見せると（見えているのかわかりませんが）急いで、エサをくれると思われる場所に体を動かします。その機敏さにとても驚きます。

私には、亀は動きが遅い、というイメージがありますが、本校の亀はとにかく動きが速く、せわしなく体の向きを変えて、エサをほしがります。最近はそれが面白くて、トイレに行くたびにジッと眺めています。目が合うと、目を離さず、ジッと見ている時もあれば、サッとそらす時があります。生き物の不思議さ、命を感じる至福の時間になっています。夕方、誰もいなくなった校舎の片隅で、またゴツン、ゴツンと……。写真ではわかりづらいと思いますが、体長は約20cmほどです。これからも大切に育てていきます。

